

市民活動は
まちの未来を
創造する

パートナー

発行 静岡市清水市民活動センター
指定管理者 NPOサポート・しみず

〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
Tel 054-340-1010 Fax054-351-5530

mail@shimizu-s-center.org
http://shimizu-s-center.org

事業報告

● 利用団体連絡会議 9月14日

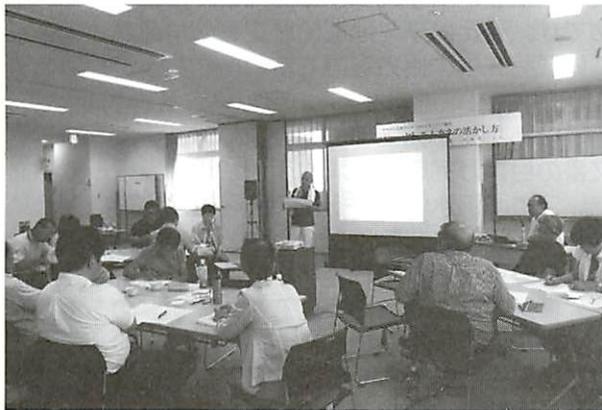
清水市民活動センターの24年度第1回利用団体連絡会議が開催され、34団体37人が参加しました。第1部は磯谷千代美センター長より年度前半の事業報告、後半の事業紹介、そして11月開催の6周年記念事業の準備状況について担当スタッフから報告を行いました。併せて、6周年記念事業実行委員長の宇野寛一郎さん(静岡WEB活用塾)、近藤一美さん(NPOグローバルハーモニー)が熱く抱負を語りました。

第2部は4つのグループにわかれ、団体の課題・地域の課題、団体同士が繋がり協力し合っている事業がないかなどを話し合いました。リラックスした雰囲気の中、いくつもの連携が具体的に話し合われたグループもあり、それぞれの今後の展開が楽しみです。



回を重ねるごとに知り合いが増えていく楽しさもあります

● NPOマネジメント講座 ヒト・モノ・カネの活かし方 9月15日



ワークショップ後の発表、学びを活かそうと熱い思いが一杯!

嘉悦大学経営経済学部教授・副学長の桧森隆一さんを講師に迎え、開催しました。桧森さんは、企業の社会貢献事業の企画制作やNPO法人の常務理事などの経験も多く、具体的な事例を示しながらの講義は、大変わかりやすい内容でした。

新しい公共とNPOへの期待の背景、NPOが公共を担い社会的課題を解決することで資源(ヒト、モノ、カネ)を集めることができること。限られた資源を最大限に活かして成果を上げるにはマネジメントが必要であり、NPOにはマネジメントができる人材が必要であると話されました。またNPOの理念・事業・人材について整理し成果の定義をするために、ワークショップを行いました。参加者からは、成果をアウトカムで表すなど、初めて知った事も多く、考え方の整理ができた、との感想がありました。

事業予告

● 講座 チャレンジしよう助成金

助成する立場の「助成財団」担当者に聞く
ニーズ把握アンケートで毎回希望の多い助成金講座。
今回は助成財団の方から直接お話をうかがいます。
日時：10月20日(土)13:00～16:00
出席助成財団担当者：
日本財団広報グループ 和田真さん
独立行政法人福祉医療機構 坪井七夫さん
参加費：資料代として200円
定員：20団体(先着順)

● 交流事業 まちの達人に聞くシリーズXI

「問の宿」由比を訪ねて
薩埵峠は東海道の難所のひとつ。同時に富士山の絶景ポイントです。興津駅から峠を越えて由比のまち歩きを楽しみましょう。
日時：11月25日(日) 10:00 興津駅集合
今回の達人：手塚喜和子さん、松永純一さん
参加費：500円 保険代 見学科
定員：15名
詳細は、清水市民活動センターまで

リレートーク 港の風 - 24 -

「海から吹く風に乗せてまちに元気をひろげたい」そんな願いを込めて、市民活動を続けているみなさんをトークでつないでいきます。今回は、清水の文化・歴史を若い世代にも伝えようと活動する小島工さんに原稿を寄せていただきました。

● 新能「羽衣」に思いをよせて

ぶんかさろん・しみず 会長 小島工

旧清水市役所に就職して定年退職までの40有余年、「市役所」という組織が自分を育て、成長させてくれました。

その現役時代の忘れられない仕事のひとつに新能「羽衣」があります。清水の21世紀都市ビジョン「国際海洋文化都市」(マリニピア清水21)構想の市民への周知とその施策を側面から支援するための企画「イベント清水21」事業のひとつとして開催したものです。

この事業は、一人の市民から寄せられた市長への投書により始まります。そこには、能「羽衣」に生涯をささげたフランスの舞姫エレヌ夫人を偲び昭和27年に開催された能「羽衣」の再演を熱望する思いが綴られていました。能公演には当時で500万円を優に超える経費が必要と言われ、市の予算はその5分の1。出来る訳がないということになりますが、悪い癖と自覚しながら、「やらせて下さい」と首を突っ込むことになりました。何事も挑戦してみようという若気の至り?であります。

ここから悪戦苦闘が始まりました。出演交渉、用具の調達、チケットの販売など初めての連続でした。しかし、各界各団体からの強力な支援で、昭和59年10月13日の開催を迎えました。

前夜の雨から打って変わり翌日は快晴。羽衣の松を鏡板にして能「小袖曾我」で幕が上がりました。松の緑と駿河湾の海の青とが絶妙のコントラストです。その舞台背景を突然音もなくコンテナ船が横切りました。幽遠な能の世界に突然物質文明の象徴のようなコンテナ船。二つの主役は陰と陽、影と形、夢と現実との素晴らしい舞台を演出してくれました。やがて薪に火が入り、暮れなずむ舞台を染めて天女が天つ御空の霞にまぎれ終演を迎える様は、今も鮮明に思い出します。

人生の大半を市民の税金で賄ってもらった私は、退職後はその何分のいくつかでも清水に恩返しをしたいと考えて続けていました。その思いは、平成16年「ぶんかさろん・しみず」という団体の立ち上げとして形になりました。長い年月の間育まれてきた郷土の歴史と文化を知り、次世代へ引き継ぐことは、今を生きる私たちの大切な使命です。発足以来、地域の歴史を掘り起こし、多くの方に伝えるため、先輩諸先生の協力を得て、講座や展示、探訪会等を行っています。



石野家の貴重な資料が並ぶ展示会

昨年は、会員や指導にあたった先生の協力により、団体設立時から念願だった石野家文書の目録が完成し、清水市民活動センターで記念展示会を行いました。また、清水区内で伝統技能を継承して仕事を行っている方々にスポットを当てる「清水の匠展」も、8回を数えます。期間中は毎回市内外から多くの方が訪れ、熱心に見学しています。

そして、地域貢献事業として取り組んでいるふるさとの道研究事業では、「志ミづ道」「久能道」の古道を調査し、冊子を刊行。現在は、鎌倉時代の東海道「北街道」をとりあげ活動を進めています。

忘れられようとしている史実や、失われつつある伝統技能や文化を子どもたちに伝えることは、地域やそこに生きる人々の愛する気持ちを育みます。私たちが行っているような活動が、今後多くの人たちの手により引き継がれ、広がっていく事を、心から願うものです。

連絡先 ぶんかさろん・しみず TEL.054-353-2801

地域メディアとの協働

エフエムしみず

「しみず市民活動センター情報」

10月の出演団体

76.3MHz 毎週火曜日 9時10分～10分間

清水市民活動センターはパーソナリティとゲストをコーディネートし、情報を提供する役割を果たしています。

- 10月2日 ぶんかさろん・しみず
10月27日に開催される秋の公開講座「神明山一号古墳と大和箸墓古墳は類似型墳」のお知らせ
- 10月9日 清水女性9条の会
10月27日に開催される講演会「台所から軍事基地まで」のお知らせ
- 10月16日 清水市民活動センター6周年記念事業実行委員会
11月4日をメインに開催される、センター周年事業のお知らせ
- 10月23日 静岡市手話サークルたつの子会
11月3日、清水テルサで設立40周年の記念式典を開催します。
- 10月30日 清水おやこ劇場
11月10日、「作って遊ぼう巨大段ボール迷路」のお誘いです。

市民活動見てある記

市民活動の現場を訪問し、その様子をお伝えしています。今回は、清水区蒲原で地域を巻き込んで活動している団体をご紹介します。

●文化財建造物から学ぶ防災の知恵

NPO法人旧五十嵐邸を考える会

東海道蒲原宿にある旧五十嵐邸は、建てられたのは明治とも江戸期とも言われ、大正時代に歯科医院として一部町家から洋風に改築された建物です。その後も何度か増改築を繰り返し、外観が洋館、内部は町家という現在の形となりました。国の登録有形文化財にも指定されたこのユニークな建物の管理運営を静岡市から任されているのが、NPO法人旧五十嵐邸を考える会(理事長 辻祐子さん)です。五十嵐邸のみならず、江戸時代の商家やなまこ壁の建物など古い町並みの面影が色濃く残るこの地域は、蒲原地区全体で、その保存と活用に取り組んでいます。

平成24年度から3年間、文化庁の「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」に採択され、現在蒲原宿まちなみの会と協力し、「東海大地震に備えて旧蒲原宿の文化財建造物を地域で守る事業」に取り組んでいます。

●地域に受け継がれた防災資源を探そう

7月22日に行われたのは、地域に受け継がれた防災資源を、実際に歩いて探すワークショップでした。

入口から裏手に抜ける「通り土間」があるのが従来の町家の特徴ですが、現代の生活様式に合わせて改築するお宅が多く、五十嵐邸の他に残っているのは、ほんの僅かです。防災の観点から見ると、逃げ道の確保に役立ちます。

また、ライフラインが断たれた際に、「井戸」の存在も重要とのことでした。

NPOだけでなく、自治会や地域住民、消防団とともにポイントを確認しながらまちを歩きました。



「通り土間」の様子が残る志田邸
(五十嵐邸同様、国登録有形文化財)

●文化財施設を防災の拠点に



旧五十嵐歯科医院

8月には、火災科学や都市デザインの専門家を招き、消火の基礎知識をもとに文化財だけでなく地域全体を守る方法や、伝統工法をいかした耐震補強や火災対策を、大工さんも交えて学びました。

9月に入り、歴史的観点から大災害を考える講演会を開催し、江戸時代に蒲原宿を襲った大津波や大地震の被害状況について、当時の文献をもとに専門家の話を聞きました。

このように、さまざまな角度から防災について学び、地域の人々とともに総合的な防災対策を考える取り組みは、来年3月まで続きます。



9月19日に開催されたまちなみ講演会

●保存ではなく、地域で活用する文化財



見事な襖絵がある古風な客間から、一変してレトロな板硝子に囲まれた洋風の歯科治療室まで、江戸、明治、大正、昭和とさまざまな時代を見せてくれる旧五十嵐邸ですが、平成10年に蒲原に寄贈された当時は修復しなければならない所がかなりあったそうです。その作業にあたった職人は、全て地元の方。地域の力を集めて息を吹き返した建物は、今、色々な団体が思い思いに利用しています。

旧暦に合わせて行われる七夕やもちつきは、地域の子供たちが楽しみにしています。NPOの会合に使われることもあり、県外からの見学者もやって来ます。

この日は秋の蒲原まつりに備え、裂き織りのグループのみなさんが展示会の打合せに見えていました。案内をする辻さんとともに、楽しそうな声が聞こえていました。

取材 9月12日 担当 望月

清水市民活動センター利用状況と休館日

利用者数 7月1,021人、8月967人 10月の休館日は、3日、17日です。

清水市民活動センター6周年記念事業 市民活動FESTA 2012 -つなぐれ清水!-

● 開催期間は10月20日～11月18日

活動パネル展と投票によるコンテスト

展示期間：10月20日～11月18日
団体の活動を紹介するパネルを館内に展示します。
投票期間：10月20日～11月4日
期間中の来館者に投票をしていただきます。
表彰：11月4日 メインイベント当日

「つなぐれ笑顔」公募写真展

みなさんから笑顔の写真を集めて、写真展を開きます。とっておきの「笑顔」をお持ちの方！ぜひご応募ください。
※ 詳細は、センターまでお問い合わせください

東日本大震災復興支援募金

期間：10月20日～11月18日
継続した支援のためにみなさまのご理解ご協力をお願いいたします。



共催事業・協賛事業

実施期間：10月21日～11月25日
期間中、日頃からセンターを利用している団体の協力によりさまざまな催しが企画されています。清水市民活動センターホームページ、メールマガジン、facebookでお知らせしています。
<http://shimizu-s-center.org/>
<http://www.facebook.com/ShimizuSFesta2012>

● 市民活動FESTA 2012 メインイベントは2012年11月4日(日) 13:00～16:00

ブースでの活動紹介 市民活動団体や、社会貢献活動を行っている企業がブースを出します。
ミニ講座 つなぐれタイム 市民活動団体の協力による、短時間でお得なミニ講座
もっと知り合い、つながって出来るアイデアを探す、全員参加の交流会です。

みなさん、11月4日はお祭り気分センターに集合です!!



静岡市市民生活課のコーナー

市民活動センターの指定管理者を募集します!

静岡市では、市民活動を促進することにより活力ある地域社会を実現するため、市内2カ所に市民活動センターを設置しています。

現在の指定管理期間の満了に伴い、次期指定管理者を募集します。静岡市の市民活動をもっと活性化させたい!という団体の方は、ぜひご応募ください。

< 募集の概要 >

- ◆施設概要 ①静岡市清水市民活動センター (清水区港町2-1-1 キラシティ2F)
②静岡市番町市民活動センター (葵区一番町50番地)
- ◆施設内容 オープンスペース、情報コーナー、ロッカー、メールボックス、印刷作業室、事務ブース、会議室 等
- ◆指定期間 H25年4月1日～H30年3月31日
- ◆応募資格 静岡市内に事務所等活動拠点を持つ法人その他団体、グループ等

◆応募締切 H24年11月7日(水)

◆指定管理者が行う業務

(1)事業の企画・実施

① 市民活動に関する情報の収集及び提供

② 市民活動に関する相談

③ 市民活動に関する講座等の実施

④ 市民活動を行うもの相互の間及び市民活動を行うものとの関係機関、団体等との間の連携及び交流の促進

⑤ 市民活動のための施設の提供

(2)市民活動センターの利用の許可

(3)市民活動センターの管理運営

(4)市民活動センターの施設及び設備の維持管理

※ シリーズ「市民活動」ってなに?は今回お休みします

詳しくは静岡市HPをご覧ください

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/simin/npindex.html>

静岡市市民生活課 多文化・協働担当

TEL 054-221-1372

E-mail seikatsu@city.shizuoka.lg.jp